

風水害から命を守る ひろしま マイ・タイムライン

解 説 編

小学生 1・2・3年生



お問い合わせ

広島県 危機管理監 みんなで減災推進課
TEL:082-513-2781

本教材について

教材制作の目的

- 児童が前向きに防災学習に取り組むこと。
- 児童が災害を「自分ごと」として捉え、いざというときに適切な行動をとる力を養うこと。

教材の構成

	ページ	タイトル	扱う内容
知る	2～3	① 強い風がふいたり、はげしい雨がふったりすると、どんな場所があぶない？	● 強風や大雨による町の様子の変化
	4～5	② 強い風がふいたり、はげしい雨がふったりすると、どんなことが起こる？	● 強風や大雨によって起こること
考える	6	③ どこを通過って、どこにひなんする？	● 避難する場所 ● 避難経路
	7	④ ひなんにひつような物は何だろう？	● 防災グッズ
マイ・タイムラインシート	8	家族で作る風水害マイ・タイムラインシート	2 ページから 7 ページまでで学んだことの振り返り



教材の活用例

特定の時期や学校行事に合わせ、毎年、本教材を活用した授業を実施する。

(例) ● 広島県「みんなで減災」一斉防災教室(毎年5～6月頃)

● 避難訓練

※その他、各学校の実情や、児童の習熟状況等を踏まえ、必要に応じて取り組んでください。

ユニボイスについて

本教材には、音声コード「ユニボイス」が掲載されています。

「ユニボイス」は、以下の専用アプリで読み取ることができます。



Uni-Voice 音声コード

音声コード Uni-Voice 読み取りアプリ



iOS

<https://apps.apple.com/jp/app/uni-voice/id759624930>



アンドロイド

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.uv&hl=ja>



Uni-Voice



風水害から命を守る
**ひろしま
マイ・タイムライン**

各ページの解説



1 強い風がふいたり、はげしい雨がふったりすると、どんな場所があぶない？

知る

考える

めあて 強い風や、はげしい雨のとき、自分の家のまわりにあるきけんを知る。

学習の導入例

- 表紙にある「風水害」とは、強い風や激しい雨によって起こる災害のことです。
- これまでに、大雨や台風などを経験したことがありますか？
- 強い風や激しい雨のとき、どんな場所が危ないと思いますか？

学習内容

解答例・学習のポイントなど

1 やってみよう！

自宅の立地を考える。

【解答】児童によって異なる

- 身近な場所に意識を向けることで、本教材で学ぶ内容が自分に関係のあることだと認識する。
- 1つも〇がつかなかった児童は、次の学習活動の過程で学習への意識を持つ。

(学習内容を深めるための児童への投げかけ)

学校や通学路の周りにあるものにも〇をつけてみましょう。

2 やってみよう！

強い風が吹いて、激しい雨が降ったとき、「どの場所」が変わったかを考える。

【解答】すべて〇

- 風水害は自分の身近なところで起こるものだということを認識する。
- 強風や大雨によって、自分の周りでどのような変化が起こるかを認識する。

(学習内容を深めるための児童への投げかけ)

自分たちの身近な場所が、「危ない場所」に変わるかもしれないことを意識しておきましょう。

3 はな話し合おう

強い風が吹いて、激しい雨が降ったとき、どこが、「どのように」変わったかを考える。

【想定される児童の反応】

山（土石流）	山の斜面が崩れている。岩や木も転げ落ちている。
崖（崖崩れ）	崖が崩れている。
川（川の氾濫）	川の水が増えている。河川敷に水が溢れ出している。川の水の色が変わっている。
海（高潮）	海面の高さが高くなっている。海水が堤防を越えて流れ込んでいる。

- 身近な場所で強い風が吹いたり激しい雨が降ったりすることによって、災害が起こる可能性があることを認識する。
- 風水害の危険がある時には山、崖、川、海から離れる必要があることを認識する。

(学習内容を深めるための児童への投げかけ)

強い風が吹いて、激しい雨が降ったときには、山や崖、川や海などから離れることが大切です。

P. 4
～

P. 5

2 強い風がふいたり、はげしい雨がふったりすると、どんなことが起こる？

めあて 強い風や、はげしい雨のとき、どんなきけんがあるかを知る。

知る

考える

学習の導入例

● 雨がもたらしてくれるもの（自然や食べ物）には何がありますか？

● 広島県で過去に起こった風水害を知っていますか？

学習内容	解答例・学習のポイントなど
1 風水害について詳しく知る。	● 川の氾濫（洪水）、土石流、崖崩れ、高潮では、どのようなことが起こるかを知る。 ● 広島県で起こった風水害の写真を見て、実際の被害の様子を知る。 （学習内容を深めるための児童への投げかけ） これらの災害は、自分の近くで起こるかもしれません。自分のこととして、意識しておきましょう。
2 マンガを参考に考える。  風水害から命を守るためには、早めに避難することが重要であることに気づく。	【解答例】ひなん、いどう、など ● 風水害の危険が迫っているときには、早めの避難が重要だということを理解する。 〈注目ポイント〉 ● 1コマ目 近所の川（身近な場所）の様子がいつもと違うことに気付き、「はんらんするかもしれない」と予測している点。 ● 2コマ目 すぐに避難の準備をしている点。 （学習内容を深めるための児童への投げかけ） 風水害が起こってから避難するのでは遅すぎます。風水害が起こりそうと思ったら、早く安全な場所に避難しましょう。

学習の導入例

- 災害が起きそうなときに、実際に避難したことがありますか？
- 災害が起きそうなときの避難先や避難経路について、家族などと話し合ったことがありますか？
- 自宅の近くに、災害の危険性があるかどうかを知っていますか？

学習内容

解答例・学習のポイントなど

1



強い風や激しい雨の
ときにどのような
場所に避難すれば
安全かを考える。

【解答】 ⑤高い場所にある小学校

〈理由〉

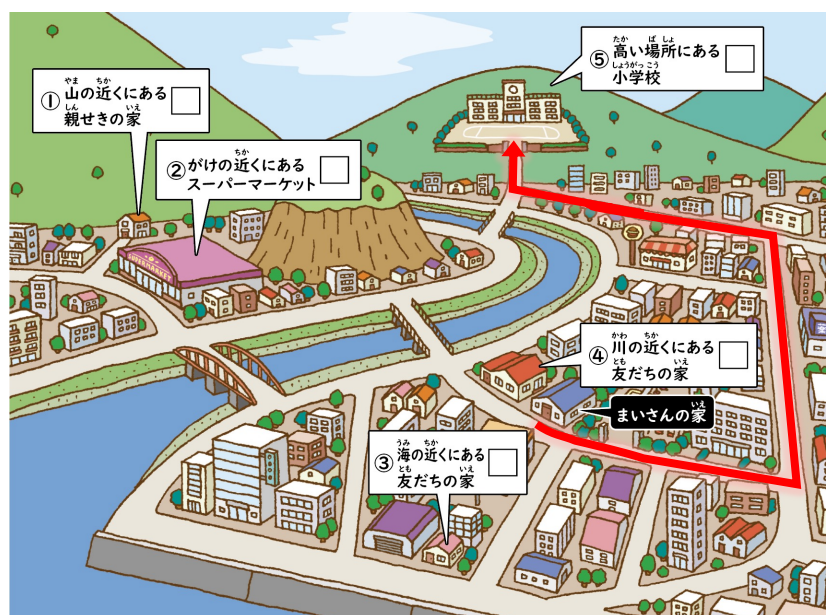
- 周囲に崩れやすい場所がないから。
- 高い場所に位置しているので、水に浸かりにくいから。
- 風水害の危険があるときに身の周りでどのような場所が安全かを考える。
- P. 2、P. 3で考えた、様々な危険を振り返りながら、高い場所にある小学校がいちばん安全であることを理解する。

2



いちばん安全だと思う
避難先までの
避難経路を考える。

【解答】



〈考え方〉

- 強い風が吹いたり、はげしい雨が降ったりすると、川の周りは水に浸かる可能性があり危険なので、川を避けて「高い場所にある小学校」に向かう。
- 風水害の危険がある時の避難経路の決め方を考える。

4 ひなんにひつような物は何だろう？

知る

考える

めあて ひなんするときに、ひつような物を考える。

学習の導入例

- 自分や家族は、避難に必要な物を用意していますか？
- 実際に避難する場面を考えて、何のためにどんな物が必要か、家族と話し合ったことはありますか？

学習内容	解答例・学習のポイントなど
1 避難するときに必要な物を知る。	● まいさんの考えた物から、水や食べ物など、生きるために必要な物もあれば、懐中電灯など避難時に必要な物、さらに避難した後に必要な物（ここではタオル）があることを知る。
2  提示された物の他に、避難するときに必要な物を考える。	【想定される児童の反応】 常備薬、メガネ、モバイルバッテリー、レインコート、軍手、ホイッスル、下着・衣類・靴下、救急セット、マスク・消毒液、マッチ・ろうそく、ティッシュ、歯磨きセット、ポリ袋、備蓄トイレ、アルミブランケット、貴重品、ペットのケージ・ペットフード、おむつ・ミルクなど。  県の防災グッズ一覧 （学習内容を深めるための児童への投げかけ） 祖父母、弟や妹（赤ちゃんや幼児）がいたり、ペットを飼っていたりすると、どのような物が必要でしょうか。
3  防災グッズについての理解を深める。	● 他の人の考えた防災グッズを知ることで、防災グッズに対する考え方や視野を広げる。 （学習内容を深めるための児童への投げかけ） 他の人が考えた物で、自分と違うものはありますか。他の人が考えた物は、なぜ必要なのか聞いてみましょう。
4 一つで色々使える防災グッズを知る。	● 身近な物で、1つで色々使える防災グッズについて考える。 ● 新聞紙（スリッパ、防寒具、枕、ラップをかけて食器、丸めた新聞紙をビニール袋に入れてクッションなど） ● ダンボール（ビニール袋と新聞紙で簡易トイレ、ビニール袋をかぶせて水タンク、粘着テープとカッターで椅子など）  （学習内容を深めるための児童への投げかけ） 防災グッズの作り方の本はたくさんあるので、図書館などで借りて、自分で作ってみましょう。

〈記入例〉

家族で作る 風水害
マイ・タイムラインシート

作った日 2025年 7月 25日

家族といっしょにたしかめ
ながら作しましょう。



家のまわりにあるものを、たしかめる。

やること 家のまわりにあるものに○をつける。

☐ 山 ☐ がけ ☒ 川 ☐ 海

国土交通省ハザードマップポータルサイト



2ページ
3ページ
を見よう

いざというときにひなんする場所を決める。

やること ひなんする場所を決めて書く。

ひなんする場所

- ・ おじいちゃんの家
- ・ 近くの中学校

※安全な場所に住んでいる場合、「家」と書きます。

☒ ひなんする場所まで、どこを歩いて行くかを決める。

☒ ひなんする場所まで、じっさいに行ってみる。

ひとつではなく
いくつか決めておこう!



避難所・避難場所検索



いざというときにひつような物を考える。

やること いざというときにひつような物を書いて書く。

ひつような物

- ・ 水、食べ物、タオル、ティッシュ
- ・ かい中でんとう
- ・ 着がえ、はみがきセット、きゅう急セット

防災グッズ一覧



7ページ
を見よう



シートを作るだけでなく、じっさいに行動することが大切です。

取り組み例

- 宿題として作成する。
- 夏休みの課題として作成する。